

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あっとほーむ 高井東			
○保護者評価実施期間	01月29日		～ 02月15日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	01月29日		～ 02月15日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	01月29日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心して利用ができ、楽しんで過ごすことができること	個人の嗜好を把握し興味・関心をもてるような遊びや活動を提供できるように取り組んでいます。また、カムダウンスペースや静養室で落ち着いて過ごせるようになど環境の整備も進めています。	今の取り組みを大きく変えるといったことは現状では考えていません。変化が苦手なお子さんが多い中で更に充実を図るために新たな取り組みをおこなうのではなく現状の取り組みの中で充実できるようにします。
2	個々の特性に合わせた支援をおこなっていること	発達障害児や知的障害児だけでなく重度心身障害児など幅広い特性をもったお子さんが利用されている中で、保護者の方や本人からのニーズに対応し、機能訓練やリハビリなど個々の状態や年齢に応じた支援を検討し実施しています。	支援内容が固定化しないように定期的な見直しをおこなうと共に、より専門的な支援がおこなえるように研修などで知識を深め、実施できるようにしていきます。また、個別での支援以外でも外出の機会を増やすなど社会参加の場を提供できるようにします。
3	お子さんのその日様子などを伝えたりコミュニケーションの機会を増やせるようにしていること	公式LINEにて普段の連絡ツールとしてだけでなく、個別に利用時の状態等を伝え、その日の様子の写真や動画を添付して送付しています。また、お迎え時や送迎時にもその日の様子等を口頭で伝えたり、子育ての悩みや相談に乗るように心がけています。	今より更に気軽に相談することができるような体制の整備をおこない、安心して子育ての悩みや相談ができるようにしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童クラブや地域の他の子どもと交流する機会がもていないこと	以前から課題と捉えており、施設を利用する子ども達の特性上どのような形や方法で交流することが可能か模索していたまま結論が出ず、現在に至っている状況となっています。	知らない人や人が大勢いる場所が苦手な子どもも多いですが、可能な交流方法を検討した結果、次年度に地域の夏まつりのこども神輿に参加させてもらえるか地域コミュニティの方と相談している段階となっています。
2	保護者同士の交流の機会やきょうだい向けのイベントやきょうだい同士の交流の機会が設けられていないなどの支援が不十分なこと	保護者会の開催を年度末におこなっていますが、保護者同士で話しをするなどの交流の機会としては設けられていませんでした。また、きょうだい同士の交流の機会は自宅にて関わるので支援の必要性が希薄であると考えていました。	次年度は保護者会の他に保護者同士の交流の場として茶話会などの企画を計画しています。きょうだい同士の交流の機会確保につきましては、当施設はきょうだい間で利用されている方が半数以上となっていることもあり、どのような形でおこなうのが良いのか検討している状況です。
3	各種マニュアルや避難訓練等の周知、説明が不十分だったこと	各種マニュアルは策定されておりましたが、内容の説明や公表はおこなっていませんでした。また、避難訓練も定期的におこないSNSやLINEでお伝えしていましたが、全体への周知が不十分でした。	各種マニュアルは玄関の分かりやすい場所に配置し、いつでも閲覧できるようにするとともにホームページに掲載をします。避難訓練は事前に予定を全体に開示し、SNSなどで公表すると共におたよりやホームページにて開催したことが周知できるようにします。